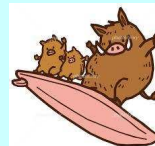


# クラブインフォメーション



発行:(公財)鳥取県体育協会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地 鳥取県議会棟別館内  
TEL:0857-26-7802 FAX:0857-26-8133 E-mail:tabuchi-h@sports-tottori.com 令和元年8月 第120号

## クラブ紹介コーナー

### けたかスポーツクラブ\*親子deスポーツ推進事業



狙うぞー!



ポイントゾーンで止まれ~!



ボールの行方を皆で見守る



ナイス寄せ

令和元年7月7日(日)、浜村小学校体育館で「親子deスポーツ推進事業」(県委託事業)を開催し、気高町内の小学生以下の親子60名が「ポッチャ」と「カローリング」を体験しました。

当クラブの地原忠実さん、松島巖夫さんの指導の下、2組の親子ペアを1チームとして、両種目を前半と後半とでペアを変えて対戦しました。

参加者は最初にルールの説明を聞いた後、スコアを自分たちでつけながら、トーナメント方式(勝ったチーム・負けたチーム同士)で対戦しました。回数を重ねるにつれ、投げ方の工夫や戦略などがわかってきたようで、チームで作戦を立てながら進めていました。(子ども達が上達する速さにびっくり!)

参加者のほとんどが「ポッチャ」も「カローリング」も初めてのようでしたが、親子で協力し声援を送りながら一緒にスポーツを楽しみ、とても盛り上がっていました。

(参加者の声)

☆すごく楽しかった。

☆2種目とも初めてでしたがとても楽しませていただきました。

☆各年代で楽しめるスポーツだと分かったので、またやってみたいです。

皆さんに大変喜んでもらえ、親子で楽しめるスポーツがあることを知っていただけました。

またぜひ親子で運動・スポーツを楽しんでいただけたらと思います。

※この事業は、県が実施した「県民の運動・スポーツに関する意識実態調査」で、30代の週1回以上のスポーツ実施率が全国平均を大きく下回ることが明らかになったため、多忙感を抱く子育て世代が身近な地域において手軽に運動やスポーツに親しめる機会を提供し、スポーツを楽しむ意識の高揚を図ることを目的として、各地域の総合型地域スポーツクラブと連携し、親子向けの運動・スポーツ教室を実施するものです。

連絡先

けたかスポーツクラブ事務局

保崎 郁江

TEL:0857-82-3158 FAX:0857-82-1067

# NPO法人かほくスポーツクラブ\*親子deスポーツ推進事業 兼鳥取県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会中部地区交流会



リードに挑戦するお父さん



リードに挑戦する男の子



ボルダリングに挑戦する子ども達



スパイダーマンの様に登る大人達

令和元年7月21日(日)、倉吉体育文化会館の倉吉スポーツクライミングセンターで「親子 de スポーツ推進事業・親子スポーツクライミング体験」兼「鳥取県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会中部地区交流会」を開催しました。

市内外から小学生以下の子どもとその保護者、総合型地域スポーツクラブ関係者が参加し、ボルダリングとリードを体験しました。

鳥取県山岳・スポーツクライミング協会の、山田佳範さん、福田宗次郎さん、高眞颯太さんの指導の下、それぞれの競技に分かれて注意事項・やり方を教えていただいた後実際に体験してみました。

屋外で行うリード(高さ15m)では、自分の体とロープを繋ぐハーネスを装着し、ピレイヤー(地面でロープを確保する人)に「お願いします!」と挨拶し、ゴール目指して、手と足を置く緑色のホールドを見定めながら登りました。

途中で「無理〜!」と言いながらも更に登っていくお子さんも居ました。ホールドの幅が広く子ども達が足で蹴るのが難しかったようで、なかなか足を蹴りだすことができない様子でした。

大人の方は、ほとんどの方が目標のゴールに到達することができました。

屋内で行うボルダリング(高さ4m)では、簡単な壁から徐々に難しくなるコースを、オレンジ色のホールドを確かめながら登りました。

初めて体験する人が大半でしたが、ほとんどの方が夢中になって何度もトライしていました。

少しの時間でも、全身を使う競技で疲労感が半端なかったようです。

最後に、高眞颯太さんが、屋外のリード壁で予めセットしてあるクイックドロ(ヌンチャク)にロープを掛けながら登るリードのデモンストレーションを披露し、プロのクライミング技術とロープワークの技術を披露しました。

## 【参加者の声】

☆手がだるかったけど楽しかった。

☆目の前の障害物が気になって思い切って手を出せなかったけど、次は頑張るってゴールしたい。

☆大人も夢中になれ、子どもとも大変楽しく体を動かすことができました。また、チャレンジしてみたいです。

とても人気のスポーツで、一度はやってみたかった方が多く、実際体験してみて面白さにはまった方もいたようです。

これをきっかけに、定期的にスポーツをする習慣がつけば良いですね。

※次回のスポーツクライミングは12月1日(日)9時30分から11時30分です。その他にも、登山、サイクリング、スキー・スノーボードも企画していますので詳細は連絡先事務局までお願いします。

## 連絡先

NPO法人かほくスポーツクラブ事務局  
徳丸 宏則 mail:kssougou@ncn-k.net  
TEL:0858-24-6465  
FAX:0858-24-6466

## 国府クラブ＊多種目スポーツ体験会



ラージボール卓球



卓球



バドミントン



ソフトバレーボール

令和元年7月20日(土)、国府町体育館で「多種目スポーツ体験会」を開催しました。

より多くの地域住民の方に、スポーツの楽しさを知ってもらうために企画し、ラージボール卓球・卓球・バドミントン・ソフトバレーボールの4種目を体験していただきました。

参加された方は、普段なかなか体を動かす機会がない方が大半でしたが、全種目に挑戦され久々に気持ちいい汗を流されました。

2時間思う存分体を動かし、初めて会った方同士で対戦したり、お話したりとコミュニケーションを取ることができました。

ラージボール卓球と卓球は、矢芝文男さん(国府クラブ会長)が指導され、丁寧に1人ずつ相手をされました。

ラージボール卓球は卓球より少しネットが高いのと、球が少し大きくあまり弾まないの、返球が遅く少々やりにくかったようです。

バドミントンは、石本隆幸さん(国府クラブ幹事)が指導され、プロのテクニックに遊ばれてしまいました。コート奥深くにシャトルを飛ばされると、素人ではなかなか打ち返すのが困難で、緩急のついた返球に足がついていかず、すぐにへろへろになりました。

ソフトバレーボールは、4対4で皆ワイワイ騒ぎながら楽しく対戦しました。

普段働いていると運動する機会が少なく、夜も高齢者の見守り等があったりと外に出られない環境にある方は、週末の日中に運動できる機会があると助かります。

日頃のストレス発散のためや健康のため、人と話すことはすごく大切です。

出るまでは億劫ですが、思い切って参加されたら楽しいと思うので、出かけてみませんか。

経験豊富で楽しいスタッフがお待ちしております！

連絡先

国府クラブ事務局

矢芝 文男

TEL:090-9739-5222

0857-23-1014

## スポねっとちづ\*チャレンジ教室



オーバーハンドパス練習



アンダーハンドパス練習



スパイク練習

令和元年7月27日(土)、智頭中学校体育館で「チャレンジ教室」(バレーボール)が開催され、町内外から小学生のバレーボールクラブと智頭中学校バレーボール部、智頭町バレーボール協会女子チーム、10団体111名が参加しました。

JTマーヴェラスの選手13名とコーチ3名の指導の下、オーバーハンドパス・アンダーハンドパス・レシーブ・スパイク練習の後、男女チームに分かれ試合形式で全チームと対戦しました。

※JTマーヴェラス:大阪市を本拠地とする日本たばこ産業の女子バレーボールチーム。

オーバーハンドパスでは、2人で向かい合い相手からきたボールを全身のバネを使って、一旦オーバーハンドパスで自分の頭上にあげ、落下してきたボールを相手の一步前に返球する、アンダーハンドパスでは、腕の面を相手に向け、膝を柔らかく使って体全体でボールを相手の一步前にパスを出す、レシーブでは、ボールが腕に当たると同時に膝のクッションを利用しつつボールを上げるやり方を教えていただきました。

一通り練習を行った後、男女のチーム毎で時間を決めて総当たりの試合形式で対戦しました。

質問タイムでは、参加したチームを4グループに分け、それぞれに選手に入ってもらい質問の時間が設けられ、普段の練習内容や体幹を鍛えるトレーニング等を教えていただきました。

閉会式の後には、写真撮影とサイン会があり、1チームずつ選手と写真を撮り、1人ずつ選手全員にサインを書いてもらいました。

元全日本男子代表の加藤陽一コーチとの写真撮影が保護者の方に大人気で、多くの女性陣が殺到しました。

### 【参加者の声】

・色々コツを教えてもらって勉強になった、今後の練習に意識して生かしたい。

連絡先

スポねっとちづ事務局

石谷 潤

TEL:0858-75-3114 FAX:0858-75-0033



集合写真

# 令和元年度鳥取県スポーツ推進委員リーダー研修会に参加しました



研修会風景



グループワーク



グループ毎に発表



長谷川会長から総評

## 【参加者】

スポーツ推進委員	鳥取市
	米子市
	倉吉市
	智頭町
	八頭町
	琴浦町
行政担当者	若桜町
	智頭町
	南部町

令和元年7月13日(土)、伯耆しあわせの郷(倉吉市)で県内のスポーツ推進委員と市町村生涯スポーツ担当者を対象とした「令和元年度鳥取県スポーツ推進委員リーダー研修会」が開催されました。

この研修会は、地域スポーツの総合的な推進に向けて、コーディネーターとしての役割が期待されているスポーツ推進委員の資質向上を通じて、生涯スポーツの推進を図ることを目的に毎年開催されているものであり、今年はスポーツ推進委員と総合型地域スポーツクラブとの連携を促進するため、県から要請があり、鳥取県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の長谷川会長が講師を務められました。

## 【研修会の内容】

講義1 「全国スポーツ推進委員リーダー養成講習会伝達講義」

講師 智頭町スポーツ推進委員協議会 寺谷 宇一郎 氏

講義2 「障がい者スポーツの普及に向けて」(講義・演習)

講師 一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会

障がい者スポーツプロデューサー 檜山 恵理 氏

講義3 「総合型地域スポーツクラブとの連携に向けて」(講義・演習)

講師 鳥取県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

会長 長谷川 和郎 氏

講義1では、智頭町内のスポーツ団体やスポーツ推進委員の活動の紹介の後、全国スポーツ推進委員リーダー養成講習会の伝達として、「スポーツ推進委員の資質と役割」、「時代の流れと役割の変化」、「コーディネーター機能の重視・期待される資質」、「スポーツ推進委員としての質の保証」に関する報告がありました。

講義2では、「障がい者スポーツの現状」、「スポーツをする上での課題」、「障がい者スポーツ指導員が抱えている課題」、「総合型クラブと障がい者」、「スポーツ指導員に期待すること」に関する講話等がありました。

講義3では、「スポーツ振興の経緯」、「総合型地域スポーツクラブとは」に関する講話の後、6グループに分かれて演習(グループワーク)を行い、スポーツ推進委員としての行動を振り返り、今後、スポーツ推進委員として取り組むべきアクションをみんなで考えました。「あるべき姿と現状とのギャップ(問題点)」と「ありたい姿と現状とのギャップ(課題)」を書き出し、それらの解決に向けて自分たちに何ができるのか、何をやらなければならないのかを話し合い、模造紙にまとめ、グループ毎に発表してもらいました。

長谷川会長は、まとめとして「目指すべきリーダー像」、「必要な5つの条件」、「PDCAアプローチの活用」、「リーダーチャートの活用」について説明された後、地域愛を持ってスポーツを通じた地域づくりを行うことの大切さを話されました。

鳥取県スポーツ推進計画の掲げる、「スポーツでつむぐ絆と輝く未来、元気いっぱいの鳥取県!」の実現を目指して、各市町村、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブが連携・協力して頑張りましょう!

※鳥取県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会委員からも、NPO法人南部町総合型地域スポーツクラブスポnetなんぶの板真悟さん、一般社団法人山陰リンクの会の杉谷哲治さんにグループワークの補助に入っていました。

# 鳥取県体育協会からのお知らせ

## 指導者派遣事業研修会を開催します

- 1 日 時 令和元年8月31日（土） 午前10時から午後4時
- 2 会 場 伯耆しあわせの郷（倉吉市小田458）
- 3 対 象 者 総合型地域スポーツクラブ関係者  
市町村教育委員会関係者、スポーツ推進委員  
その他スポーツ関係者
- 4 内 容 講 演「総合型地域スポーツクラブの課題と解決のためのヒント」  
～登録・認証制度の導入とこれからのクラブの在り方～  
講 師 大阪教育大学附属高等学校  
教諭 松田 雅彦 氏  
  
ワークショップ 「クラブの現状把握と課題への取組」  
講 師 大阪教育大学附属高等学校  
教諭 松田 雅彦 氏  
  
意 見 交 換

総合型地域スポーツクラブの**変革の時**です。  
これから総合型地域スポーツクラブはどう変わっていくのか、行政・スポーツ推進委員としてどう関わっていくのか知る機会です。  
多くの方に参加していただけたらと思います。